

第1回

ゆるがないデザインを学ぶ・軽井沢

吉村順三・レイモンド・奥村昭雄の建築を訪ねる

「レイモンド夏の家」の特別公開に合せ、秋の軽井沢で吉村順三、アントニン・レーモンド、奥村昭雄 設計の建物を訪ねます。今回、特別に見学をする「星野山荘」では、設計者の奥村昭雄氏に また「軽井沢 新スタジオ」では、アントニン・レーモンドに師事し、現在の「軽井沢 新スタジオ」のオーナーである北澤興一氏より直接お話しが聞けるチャンスです。そして、特別講義は、「カニングハム・ハーモニーハウス」で行います。

●開催概要

開催日時:10月12日(水) 13:00～ 10月13日(木) 12:00

集合場所:JR 軽井沢駅

スケジュール:	*1日目の参加も可能です。
◇10/12(水) ～13:00	集合
13:00～17:00	建物見学 ① ③ ④
17:00～18:00	特別講義 講師:野池政宏
18:00～20:00	懇親会 (JR:軽井沢駅 周辺にて)
◇10/13(木)	
9:00～12:00	建物見学 ② ⑤ ⑥
12:00頃	終了予定

参加費: 組合員…無料 その他…¥10,000

懇親会費: ¥6,000

- *宿泊は、参加費に含まれません。各自で、予約手配をお願いします。
- *1日目の解散場所・2日目の集合場所および解散場所は、JR 軽井沢駅周辺の日予定です。
- *お申込み受付後、参加費の請求書を送付します。ご入金確認後詳細な案内を送付いたします。
- *お申込み後のキャンセルは以下の通りキャンセル料を頂戴いたします。

連絡無の不参加	参加費用の100%
当日	参加費用の100%
前日	参加費用の50%

●見学場所 *見学先を変更する場合があります。

「カニングハム・ハーモニーハウス」… ①

設計:吉村順三 1963年竣工
吉村順三氏が設計した軽井沢の建物の中でも有名なものの一つ。日本の子どもたちに本格的なオーケストラ音楽を鑑賞させようと、建設。合宿棟・食堂・ホールからなる。



◆参加申込方法

A:下記に必要事項をご記入のうえ、協同組合もくよう連宛てに FAX で送信してください。

B:もくよう連 ホームページ(<http://www.mokuyoren.jp>)のお問合せフォームまたは e-mail:info@mokuyoren.jp に、会社名・会社住所・tel・fax・メールアドレス・参加者氏名・申込内容を入力し送信してください。

会社名

住所 〒

tel

fax

参加者氏名

申込内容

全日程参加 部分参加 : 1日目 懇親会 2日目

参加者氏名

申込内容

全日程参加 部分参加 : 1日目 懇親会 2日目

参加者氏名

申込内容

全日程参加 部分参加 : 1日目 懇親会 2日目

*組合員は、住所・TEL・FAX の記載は不要です。

申込先:協同組合もくよう連 FAX:075-533-7188

〒605-0878 京都府京都市東山区芳野町101-1 Tel:075-533-7166 e-mail:info@mokuyoren.jp

主催:協同組合もくよう連

共催:自然エネルギー研究所

環境創機(株)

特別見学先は私有であり、今後の公開・見学予定はありません。

「小さな森の家(吉村山荘)」… ②

設計:吉村順三 1962年竣工
建築家吉村順三氏が設計した作品の中でも、多くの人を魅了する「小さな森の家」。
*外観のみの見学です。



「レイモンド 夏の家」… ③

設計:アントニン・レーモンド 1933竣工
建築家アントニン・レーモンド氏が自らの別荘兼アトリエとして建て、その後移築、復元。現在「ペイネ美術館」として25年が経つ。移築25年を記念し、主室の雨戸を全面開放、建物本来の姿を見るチャンスです。



【特別見学】

「軽井沢 新スタジオ」… ④

設計:アントニン・レーモンド 1963竣工
建築家アントニン・レーモンド氏の夏の創作活動のため建築。設計理念が集約されている。自分自身の為に造られた建物で、保存されている建物は軽井沢新スタジオのみ。
(株)北澤建築設計事務所 北澤興一氏 所有



「聖パウロ協会」… ⑤

設計:アントニン・レーモンド 1963竣工
1935年に英国人ワード神父によって設立されたカトリック教会。軽井沢での歴史的建造物。傾斜の強い三角屋根、大きな尖塔、打ち放しのコンクリートが特徴。チェコスロバキアの教会の伝統をそのまま取り入れた外観と、伝統とは違った内部のなごり仕上げによる丸太露出が特徴



【特別見学】

「星野山荘」… ⑥

設計:奥村昭雄 1973竣工
ボット式石油ストーブを利用した床暖房システムを採用。下に下ろす空気を、2重煙突の外側の煙道を通して煙突からの排熱で更に暖め、床下に通す。簡易的な、熱交換であり床暖房。



■先人が残した知恵、技を学び・・・

我が社が掲げる「家づくりの理念」が四つあります。その一つは、「先人が残した知恵、技を学び、現在に生かし、後世に伝えていく家づくり」。そしてもう一つは、「地域に根ざし、地域の風景として誇れ、残り続ける家づくり」です。

建築人として先人から多くを学び、風景として誇れ、残り続ける家作りを目指しましょう。



築出恭伸 (株)ツキゲ工務店 京都府



羽根信一 (有)羽根建築工房 大阪府

■素晴らしさ、おもしろさ、奥の深さを、改めて知る。

揺るがないデザインに出逢い、建築の素晴らしさ、おもしろさ、奥の深さを改めて知った。

仕事をさせていただいたすべての建築家の人間味のある人柄に惚れ込んでしまいました。家づくり(お客様)とそこに携わる人を育て幸せな気持ちにさせ、誇りとまで思わせる、そこまでデザインされたものだと感じています。今に至るすべての、つくる難しさや、つくる喜びにつながっていると思います。

■百聞は一見にしかず。

百聞は一見にしかず。百見は一行にしかず。百行は一感にしかず。私の行動指針です。すなわち、どんなにいい情報(チャンス)を聞いても、実際に見に行かないと分かりません。また、どんなにたくさんのいい建物を見ても、それを仕事に生かさなければ意味がありません。そして、たくさんの仕事に生かしても、感性を磨かなければ意味がありません。また、感性を磨く上で必要なものは、本物に触れる事だと思うのです。

時代がものすごい勢いで動いていますが、先人たちが積み上げてきた上に私たちのこれからのテーマが生まれ、そして変化していく事だと考えます。建築の醍醐味、そして終わりの無い建築の進化を、是非皆で考え共有できれば、もっと日本の家は良くなると思います。これからの日本の家を支える工務店の皆様、このチャンスを生かして頂きたい。



鈴木岳紀 コスモホーム(株) 愛知県



池田浩和/岡庭建設(株) 東京都

■いい建築には、必ずその「訳」があります。

いい建築には必ずその「訳」があります。なぜ格好がいいのか、心地いいのか、その感性を磨くために、常に建築を見続けてきました。そして、寸法や空間の意味を自分なりに学び今があると思っています。建築技術や感性を磨くことに終わりはありませんから、今回の様に見たくても見られない建築を見学できることはとてもワクワクします。!(笑)

またとない機会、我が社もスタッフ全員で見学しようと思います。

講師紹介



野池政宏 (のいけ まさひろ)

住まいと環境社 代表、 「Forward to 1985 energy life」を提唱。
協同組合もくよう連 顧問

1960年生まれ 岡山大学理学部物理学科卒

岐阜県立森林文化アカデミー 非常勤講師 ・自立循環型住宅研究会 主宰
NPO 法人 WOOD AC 理事 ・ウッドマイルズ研究会運営委員

<主な著書>

「自然を愛する人の家づくり 15の原則」(自費出版)

「自然住宅のタダシイつくり方」(エクснаレッジ刊/単行本)

「自然住宅便利帳」(エクснаレッジ刊/単行本)

「じっくり派のための家づくり① 断熱・省エネ編」(エクснаレッジ刊/単行本)

「じっくり派のための家づくり② 自然住宅(環境×健康)編」(エクснаレッジ刊/単行本)

他、雑誌取材・寄稿なども多数